

〈展覧会報告〉

改組第七回筑後支部高等学校書道教員書作展 報告

ありあけ新世高校 虎本 義礼

令和六年八月十七日（土）～二十日（火）の四日間、久留米シティプラザにおいて標記書作展を開催した。連日三十五度を超える猛暑のなか、三三五名の方々にご来場いただき盛会裏に終えることができた。

この書作展は、昭和五十九年（一九八四年）から毎年、福岡県筑後地区高等学校の書道教諭・講師の自己研鑽の場として年に一度開催しているもので、平成二十五年（二〇一三年）の第三十回展を最終展としていたが、平成二十八年（二〇一六年）より新たに「改組第一回」として開催する運びとなり、途中コロナ禍による見合わせを経て、今回で七回目を迎えた。

出品者は教員二十名、筑後地区で指導されていた先生方が九名、また高口指導主事にも賛助出品をいただき、全体で三十名、出品点数は四十五点となった。

多字数を中心に、漢字の各書体、仮名、漢字仮名交じりの書、篆刻作品に至るまで幅広い内容で、額や軸装された作品だけでなく着物や布、パネルなど様々な素材に表現された作品が並んだ。

また、今年も毎回ご好評いただいているご来場者プレゼントとして、ハガキや団扇、篆刻作品などの小作品を持ち寄り、抽選のうえお持ち帰

りいただいた。観覧後のアンケートでは、印象に残った作品とともにたくさんのご意見を頂戴した。

これを糧に、今後も自らの書作品の向上と書道教育の振興・発展に努めてまいりたい。

次年度も八月に開催を予定しておりますので、多くの方々のご来場をお待ちしております。

